

笑顔を取り戻すために

酒田市立八幡小学校六年 堀 柚葉

私の祖父は、朝晩十種類以上の薬を三十年以上も飲み続けている。しかし、数が多いので、時々いくつか飲み忘れて調子を崩したことがある。また、副作用でつらい時もあったそうだ。

忘れないためには、どうすれば良いのかと私は考えるようになった。そして、ちょうどその頃、「薬学研究者」が主人公の一冊の本と出会い、安全で飲みやすい薬をこの手で創りたいという気持ちが次第に強くなっていった。今よりも量や回数を減らして飲める薬や、副作用のない薬、そして難病で苦しんでいる人を救う薬、そんな薬を開発したいと。

しかし、薬学研究者になるためには、薬科大学で四年、大学院で二年学び、修士号を修得しなければいけない。他にも研究者になる方法はあるが、私は薬について多くのことを学びたいので、この道を選ぶ。

そのために、私は三つのことを念頭に置いて、日々頑張ろうと思う。一つ目は、大学に入るために今まで以上に勉強をすることだ。ただ丸暗記をするのではなく、どうしてそうなるのか、きちんと理由を理解し自分のものにしていくてはいけない。

二つ目は、英語のコミュニケーション能力を身につけることだ。聞く・読む・書く・話すの四つをできるようにし、海外の研究者と意見交換をする時に役立てたい。また、グローバル化が進んでいる世の中に対応できるようにするためもある。

三つ目は、人を思いやる気持ちを忘れないことだ。患者さんや研究者の仲間をはじめ、社会に出ると大勢の人々と関わりを持つことになる。仕事のためだけでなく、社会人として生きていくためには、時に相手の気持ちになって考え行動

しなくてはいけない。今回、ライフプランシートを記入してみても、改めてその道のりは長く、それなりの費用もかかることがわかった。特に新薬を創るとなると、さらに道は険しく、生半可な覚悟では挑むことはできない。だから、私の無謀とも言える夢を認め見守ってくれている両親に感謝しながら、今後も努力を惜しまず、常に向上心を持って、未来のために「今」できることを一つずつ頑張っていきたい。

自分が創った薬で、大勢の人々が「笑顔」を取り戻せるように。そして、その「笑顔」が世界中に広がっていけるように。そんな薬を、私は創りたい。

堀 柚葉 のライフプラン

将来なにになりたいか? **薬学研究者**
その理由: **難病で苦しむ人々を笑顔にしたから**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	12(小6)	英語を習う・中学受験準備	塾代
2019年	13(中1)	英検4級受験 友達を増やす	英検代 塾代
2020年	14(中2)	英検3級受験	
2021年	15(中3)	英検2級受験	
2022年	16(高1)	英検1級受験 理系の強化	
2023年	17(高2)	TOEFLチャレンジ	TOEFL代
2024年	18(高3)	大学受験準備	
2025年	19(大1)	薬学部へ入学 サークルに参加 アルバイト	入学費 授業料 生活費 本代
2026年	20(大2)		
2027年	21(大3)	創薬科学科を専攻 創薬に関する知識を高める	
2028年	22(大4)	課題研究に取り組む 大学卒業	
2029年	23(大5)	大学院に進む	
2030年	24(大6)	修士号取得 大学院修了	
2031年	25	製薬会社に就職 知識を高める	
2032年	26	薬の研究に勤しむ	
2033年	27		
2034年	28	新薬研究に携わる	